

# 一般国道210号 いけのはるばし 池ノ原橋技術検討会（結果）

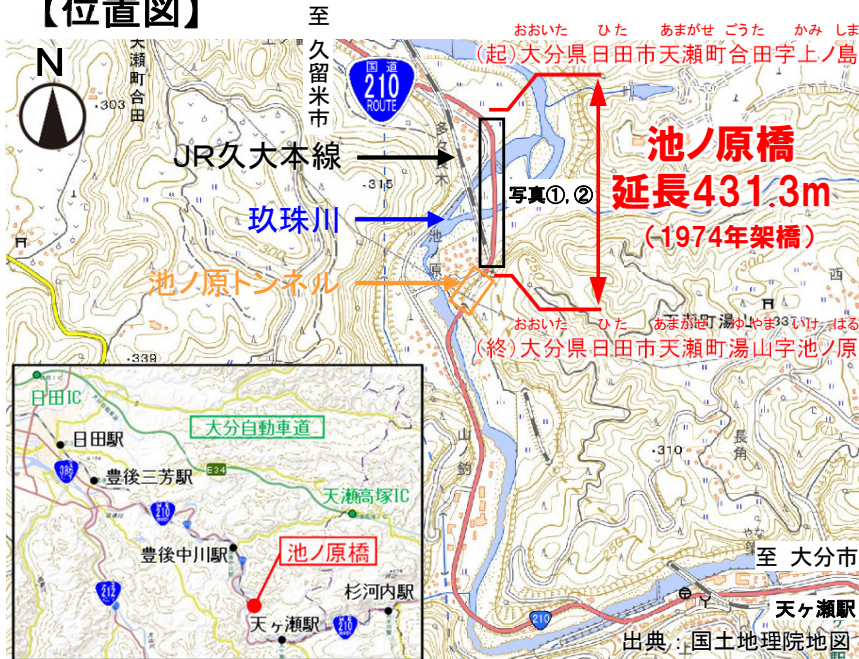
大分河川国道事務所では、一般国道210号池ノ原橋について有識者による検討会を開催し、対策（案）について妥当性を確認しました。  
主な結果は以下の通りです。

- 開催日：令和8年3月13日（金）、3月16日（月） 【持ち回り開催】
- 有識者：一宮 一夫 大分工業高等専門学校 教授 玉井 宏樹 九州大学大学院 准教授  
山本 大介 大分工業高等専門学校 准教授

## ■主な結果

- 国道210号池ノ原橋は架橋後52年が経過しており、床版の土砂化やひび割れ等の損傷が著しく、進行すると抜け落ちが危惧される状態であるため、床版取替による対策を行うことは妥当である。
- また、国道210号は、重要物流道路や第一次緊急輸送道路に指定されており、床版取替により物資輸送や救命活動を行うための重要な路線としての信頼性が維持される。
- 現地状況より、仮橋や旧道を活用した迂回は困難と考えられるため、今後の詳細設計においては、現道交通に与える影響を考慮した施工計画を検討することが重要である。

## 【位置図】



## 【現況の池ノ原橋】



## 【池ノ原橋の損傷状況】



▲写真① 床版の二方向ひびわれ



▲写真② 舗装のポットホールや床版の土砂化